

令和6年度 予算が成立!

高校無償化などの子育て支援、道路整備の加速化など 県民目線の政策が充実

予算総括質疑は
こちら→



予算の概要は
こちら↑

山下知事就任後初となる令和6年度当初予算編成は、公約に掲げた県民目線の政策ばかりでしたが、自民党・無所属の会などが提出した修正案が可決しました。修正案提出の主な理由は、「奈良県の防災対策を0ベースで」という耳を疑うような理由でした。

能登地震で証明 災害時に役立たない滑走路

前知事時代、五條市に2,000mの滑走路を備えた大規模防災拠点をつくるため、約36億円で用地を購入。しかし、能登半島地震で能登空港の滑走路には多数の亀裂が入り機能しなかった事実や、盛り土を完成するのに10tダンプで毎日100台運んでも約90年かかるということを当会派の原山議員や山下知事が厳しく指摘。このような計画を緊急防災減災事業債だから国が7割負担してくれると触れ回り、約1,000億円の事業を行おうとしていた人達が0ベースというのは理解に苦しみます。



無駄遣いで購入した土地の利用目的をこじつけているだけ!

消防学校移設も奈良県が抱えていた長年の課題です。交通アクセスや工事費用を考えると旧高田東高校への移転が合理的です。0ベースとは口だけで、五條移設を強く望むのは無駄遣いした土地の利用目的をこじつけているに過ぎません。このような方々に奈良県の今後の防災対策を任せることはできるでしょうか?

知事与党としての責任

会派日本維新の会は、山下知事の提出した当初予算案に賛成の立場であり、自民党・無所属の会が提出した修正予算案には反対の立場です。修正案の議決時に退席したのは、我々が当初予算案を強く主張し続けることによって、修正案を呑む山下知事の県政運営に支障をきたす結果になってはならないとの考えからです。知事とともに、これからも奈良県政発展、県民生活の向上に全力で取り組みます。

山下知事の公約が実現!

私立高校の無償化、県立高校トイレピカピカ計画、さらに道路環境の改善や西和医療センター移転候補地決定など、奈良県初の民間出身の知事として、県民目線の予算が実現しました。一部修正が加えられましたが、まだまだ始まったばかりです。山下知事とともに奈良県の発展、住民サービスの拡充、未来にツケを回さない政治を目指し今後も全力で活動します。



奈良県太陽光発電施設の設置及び維持管理等に関する条例の一部を改正する条例

自民党無所属の会の議員から提出された条例改正案ですが、奈良県の経済発展や民間企業との協働を阻害する可能性があり、受け入れられる内容ではありません。経済労働委員会で佐藤、清田議員が提案者に対し質疑を行い、本会議で松木議員が反対討論の場で詳しく理由を説明しています。



杜撰な議案に反対!

奈良県の県行政に関する基本的な計画等を議会の議決事件として定める条例の一部を改正する条例

同じく自民党無所属の会の議員からの提案ですが、奈良県だけが他府県に対し意思決定に時間を要し、後れを取るような可能性もある内容です。本会議で福西議員が反対討論で理由を説明しています。



再議について

以上2件の議員提案を山下知事は再議に付し、否決となりました。3月25日、本会議で山下知事がその理由を説明しています。ぜひご覧ください。

3月25日 本会議
松木・福西議員の
反対討論
山下知事の理由説明

メンバー紹介



各メンバーの選出区ごとに色分けしています。

福西広理

ふくにし ひろみち
・文教くらし委員会
・総合防災対策特別委員会
・議会運営委員会

松木秀一郎

まつき しゅういちろう
・関西広域連合議員
・経済労働委員会
・少子化対策・女性の活躍促進・スポーツ振興対策特別委員会

松尾勇臣

まつお いさお
・建設委員会
・南部・東部地域振興対策特別委員会

中川 崇

なかがわ たかし
・建設委員会
・少子化対策・女性の活躍促進・スポーツ振興対策特別委員会

原山大亮

はらやま だいすけ
・総務警察委員会
・南部・東部地域振興対策特別委員会
・議会運営委員会

清田典章

きよた のりあき
・経済労働委員会
・少子化対策・女性の活躍促進・スポーツ振興対策特別委員会

清水 勉

しみず つとむ
・総務警察委員会
・総合防災対策特別委員会
・議会運営委員会

小林 誠

こばやし まこと
・建設委員会
・少子化対策・女性の活躍促進・スポーツ振興対策特別委員会

関本真樹

せきもと まさき
・文教くらし委員会
・観光振興対策・地域公共交通対策等特別委員会

山田洋平

やまだ ようへい
・総務警察委員会
・観光振興対策・地域公共交通対策等特別委員会

佐藤光紀

さとう みつひろ
・経済労働委員会
・観光振興対策・地域公共交通対策等特別委員会

工藤将之

くどう まさゆき
・厚生委員会
・南部・東部地域振興対策特別委員会

福田倫也

ふくだ としや
・厚生委員会
・南部・東部地域振興対策特別委員会

星川大地

ほしかわ だいち
・文教くらし委員会
・総合防災対策特別委員会

代表質問

一部抜粋

小林 誠 議員



- ① 県民の命と財産を守るための防災力の強化について
- ② 大阪・関西万博に向けた奈良県の取組について
- ③ 今後の奈良県の観光戦略について
- ④ 国スポ・全スポに向けた取組について
- ⑤ 学校現場における働き方改革と教職員が子ども達と向き合うための時間確保への取組について
- ⑥ 次なる新興感染症への備えについて
- ⑦ 県立高校入試における障害のある生徒への配慮について



県民の命と財産を守るための防災力の強化について

質問 見直された2,000m級滑走路を備えた大規模防災拠点整備の財政的検証がこれまで県議会で議論されてきませんでした。総事業費1,000億円の財源はどう賄うつもりですか。

答弁 この土地の買収に活用した緊急防災・減災事業債は令和7年度までに事業を概成しなければならない。しかしリニア工事の残土を利用する計画で、期間内に工事が終わると思えない。また人件費、資材価格の上昇で建設費は1,500億円に達する可能性があり、事業債の期限も踏まえると1,000億円を自前で賄う可能性もある。

一般質問

一部抜粋

福西 広理 議員



- ① 大和平野中央の県有地の活用について
- ② 大和川流域における流域治水対策について
- ③ 生成AI等を活用した働き方改革の推進について
- ④ 教育現場における生成AI等の活用について



大和平野中央の県有地の活用について

質問 磯城郡3町(川西町、三宅町及び田原本町)の県有地を活用したまちづくりは、地域の活性化、奈良県全体の発展に貢献すると考えますが、具体的にどのように取り組んでいくのですか？

答弁 川西町は「子どもを中心に多様な交流が生まれるまち」、三宅町は「次世代を担う学生×企業のまち」、田原本町は「交通安全・安心のまち」を用地活用の基本的方針として合意。今後は計画策定や調査を実施するなどし、地元・関係者に丁寧に説明するなど3町と連携して取組を進めていく。

福田 倫也 議員



- ① 大阪・関西万博の開催について
- ② 消防力の向上について
- ③ 小金打川の河川改修について
- ④ 土木技術職員の確保等について



消防力の向上について

質問 消防力の向上は、県民の安全・安心の確保に向け重要な課題と考えます。今後の取組と、消防学校の移転整備における知事の意気込みをお聞かせください。

答弁 消防学校については、カリキュラムを充実させ、地元自治体と連携しつつ移転整備に向け着実に取り組んでいく。また、市町村へ消防団員の処遇改善の助言を行うほか、消防防災ヘリコプターを令和7年度に併用開始し、直接的な消防力の向上を図っていく。

清田 典章 議員



- ① 市町村への権限移譲について
- ② 中和西部地域の発展に向けた取組について
- ③ スタートアップへの支援について
- ④ 「新しい産業政策のパッケージ」について
- ⑤ インバウンド向けの観光PRについて



市町村への権限移譲について

質問 奈良県の市町村への権限移譲対象事務の選定基準をお聞かせください。また、効率的な行政運営のため、奈良県が中心となって推進や見直しを行うのが望ましいと考えますが？

答弁 移譲対象事務は、「住民の利便性の向上」、「事務処理の迅速化及び効率化」、「市町村における総合行政の展開」の3つの観点により選定している。市町村の状況に応じて、移譲に適する事務かどうかを十分に検討し、引き続き権限移譲を進めていく。

山田 洋平 議員



- ① 関西文化学術研究都市について
- ② 養徳学舎について
- ③ 保育に関する支援の充実について
- ④ しごとセンターについて
- ⑤ がん患者への療養生活の支援や社会との共生について



養徳学舎について

質問 現状、入舎対象が男子学生のみとなっていますが、今後の方向性について考えをお聞かせください。

答弁 平成22年の建替え時に女子学生の受け入れを検討したが、女子の東京圏への進学率が他府県より低く、管理運営面での課題もあり見送った。しかし、東京圏への進学者に占める女子の割合増加や、他県では管理運営面の課題に対応していることから、女子の受け入れを前向きに検討していく。

委員会 報告

各議員の詳しい質問内容はQRコードの動画をご覧ください。

厚生委員会



総務警察委員会



経済労働委員会



建設委員会



文教くらし委員会

